

すなお

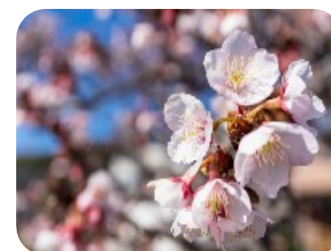
令和4年2月号

おやのことば

緩めば枝が枯れる、枝が枯れ
たら葉が落ちる、芽が枯れる。

この道理聞き分けたら、一日
も一日も早く早く。

明治三十年二月十九日



すなお (立教185年2月号)

通 巻 No.739
発行所 天理教瀬戸路分教会
794-0007 今治市近見町4-5-10
☎ 0898-23-5004
FAX 0898-23-5123
発行日 2022.2.16
責任者 二宮英治

先日、以前に伐採した後の根を取り除く作業を
させていただく機会がありました。教会にはた
さんの種類の木々が植えられています。根を見
るとその木の性質のようなものが分かるような気
がします。もちろん、私は全くの素人ですから感
覚的なものです。

それで感じたのは、人間が世話をして植えてや
るような木は伐採されてしまうと、すぐに根も枯
れてしまっています。いわゆる雑木というよう
な木は伐採されても根っこ辺りからしばらくの間、
芽が次から次へと生えてきます。そして、根を掘
り起こしてみると土の中では縦横無尽に根が絡み
合っている状態です。本当に凄まじい勢いを感じ
ます。だからこそ、どんな状況にあってもしぶと
く生きて行けるのだらうと思います。

以前、ある老人ホームの取り組みを聞いてなる
ほどと思った事があります。それは施設の中で
バリアフリーを止めたという決断です。数年前か
ら日本各地での老人福祉施設においてはバリアフ
リー化を進めている状況の中でしたので、当時の
流れからは逆行する方針です。

(次ページへ)

会 長



見守ってくださる

椿 信代

私の大好きなことの1つに星を見上げることがあります。真っ暗な夜空に静かに輝く月、そして天井一面に広がる星空をずーっと見ていると、宇宙の中に浮かぶ地球、その地面の上に立つ自分を感じることができます。

宇宙のことを知ることも楽しいです。光が1秒間に進む距離は約30万kmで、それは地球を1秒で7周半もするスピードですが、それ程速い光の速度でも今見えているあの星までは1万年もかかる…など。

とてつもないスケールの話です。つまり、そんな宇宙のことを思えば1日たった24時間の人間世界のことを本当に小さく思えてきます。怒りや悲しみのようなネガティブな感情も夜空を見つめているとすうーっと穏やかに消えていく気がします。

ただ…実は今住んでいる土地では街の灯りが明るすぎてあまり星が見えないのですが、今もこの心は忘れずにいます。つらいとき、あなたも夜空を見上げてみてください。大きな大きな空に、月日親神様はどこにいても見守ってくださっていると感じるでしょう。

教会ニュース

本年4月、おちばでのお運びを経て葛城分教会の会長さんが辞任され、後継者の真介さんが新会長になられます。そして、5月29日に就任奉告祭が執り行われます。現在のコロナ禍の状況から出席者を限定してつとめられる予定になっていますので、個別の出席は控えておいて下さい。よろしくお願いします。

編集後記

毎日寒い日が続いています。もう少しで春になり、若い芽があちこちから出てきます。春になると色々な事が始まります。我が家の受験生も、春から高校生になります。色々な新しい事にチャレンジして、成長して欲しいと願う今日この頃です。（編集者K）

でも、その成果は驚くべきことで、バリアフリーの時より転倒する方が少なくなるという結果になったそうです。

人間の身体は楽を知ってしまうとそこで成長が止まってしまう、良かれと思つてしたバリアフリーによって、足を上げる必要が無くなれば足の筋力が弱つてしまい何の段差が無くても、筋力が低下しているのでつまづいて転倒してしまうのです。その人にとって本当に何が一番大切なのかということをしつかり思案しなければならぬという良い事例だと思います。

これは心の成長ということにも通じると思います。辛いことや苦しいことは誰しも味わいたくないし、避けられるものなら避けて通りたいものですが、果たして避けて通ることが本当に自分のためになるのかどうか。その試練を乗り越える事によって得られる大きな喜びがあるかも知れません。もちろん、先の人生など誰にも分かりません。いわゆる”神のみぞ知る”です。だからこそ、神様から与えられた様々な試練やハードルから逃げるのではなく、まずは受け止めて生きていくことが大切なことだと思います。そして、それは冒頭で書いた雑木のようなしぶとさを、神様は私たちにも仕込んで下さっていることを信じてことです。

さあ、まだまだ続きそうなコロナ対応生活ですが、お互いに勇ませ合つて生きていきましよう。



日々のひのきしん

田中道則

先月の23日に陽都の誕生100日の「お食い初め」を家でさせていただきました。ミルクをよく飲んでぐんぐん成長しています。気が早いですが、小学生になったら何かスポーツをして欲しいなんて話をしています。しかし、陽都が小学生になって親子で運動会で走る頃にぼくは50歳手前です。

仕事柄つねに体を動かしているので身体能力には自信があります。学生の頃は50Mを6秒台で走っていました。50歳のおじさんが20代、30代の若いパパ達を差し置いて駆けっこで勝ったらめっちゃカッコいいなと思います(笑)その為にも日々のひのきしんを欠かさず勤めていきたいです。

そして何よりお父さんの信仰はすごいなと思ってもらえるよう頑張りたいです。